

電気と保安

お客さま対談

ここにしかない山の美しさ、山の恵みを伝え、
稀有な存在として全国から人を呼ぶ宿

株式会社 山人 -yamado- さま

スポットライト1 当協会お客さま設備の指摘事項・指導事項の概要

スポットライト2 8月は「電気使用安全月間」です

2023年
夏季号

vol.294



ほあん研や



御釜（宮城県蔵王町）



あんぜん、きづく、あんしん

東北電気保安協会

<https://www.t-hoan.or.jp/>



目次

CONTENTS

設備の点検ポイント	受電設備の鍵の管理を確実にいきましょう！	1P
お客さま対談	株式会社 山人 -yamado- さま	2-5P
検査員の現場報告	1 あって良かった、予備ヒューズ！	6P
	2 何か臭います？	7P
スポットライト	1 当協会お客さま設備の指摘事項・指導事項の概要	8-9P
	2 8月は「電気使用安全月間」です	10P
家庭の電気お役立ち情報	地震・台風に備えて	11P
地域とともに「道の駅」	道の駅 ふたついで	12-13P
地域活動紹介コーナー	白河市内の幼稚園の「電気安全特別診断」を実施しました	14P
information	小出力発電設備に係る新たな規制制度について	15P
	受電設備保証保険に加入しています	16P
温泉地紹介	『本州最北端』下風呂温泉郷	17P
電気の安全・省エネ ワンポイント		
電気と保安クイズ		

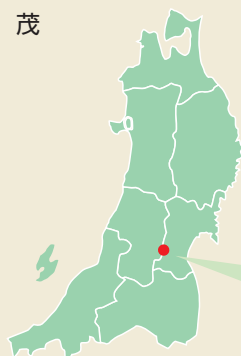
今季号の表紙

「御釜」

撮影者
白河事業所 山崎 茂



蔵王連峰の刈田岳、熊野岳、五色岳の3峰に抱かれた円形の火口湖で、釜状なので「御釜」という名前がついています。湖面はエメラルドグリーンの水をたたえ、荒々しい火口壁と比して神秘的な雰囲気を持っています。太陽光線の当たり方で様々に色を変えることから「五色湖」とも呼ばれています。冬の樹氷とともに蔵王の象徴となっています。



受電設備の鍵の管理を確実に行いましょう！

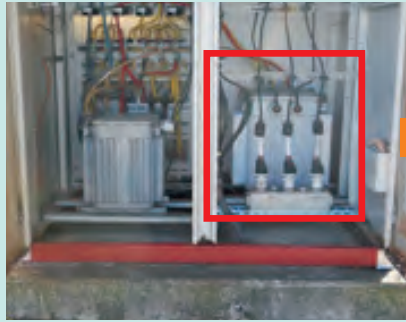
受電設備（電気室やキュービクル式高圧受電設備）は、6,600ボルトの高い電圧で受電しており、充電部に接触しなくとも近づいただけで感電するおそれがあります。過去にも電気設備に関する知識のない方が安易に受電設備の鍵を開け、内部の電線等に接触し感電する事故が繰り返し発生しています。

感電事故を防止するために、受電設備の鍵の管理は確実にを行い、受電設備の扉を開ける必要がある場合には、当協会に必ず連絡をお願いします。

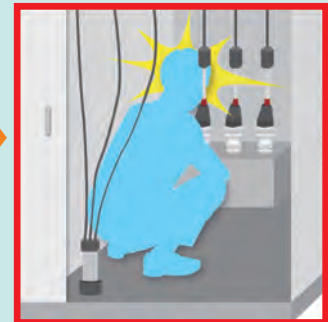
過去の事故事例 1

お客さま従業員の方がキュービクル下部の腐食箇所の改修工事を行うため、扉を開けて充電中のキュービクル内に入ったところ、高圧進相コンデンサ用の限流ヒューズ電源端子部（6,600ボルト）に右耳が触れて感電した。

キュービクルの扉を開けて作業を実施することについて、当協会への事前連絡はありませんでした。



キュービクル内



感電の状況

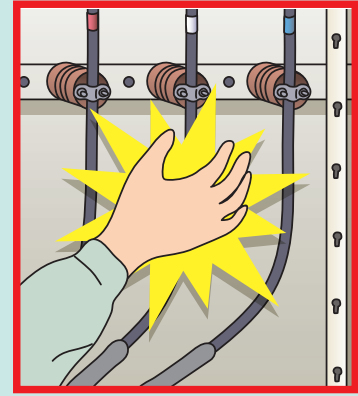
過去の事故事例 2

作業者は、充電中のキュービクルの扉を開け、側面に太陽電池発電設備からの電線を通す穴を開けるため、充電式パンチャーを使用していたところ、高圧電線接続部付近（6,600ボルト）に右手が接触し感電した。

キュービクルの扉を開けて作業を実施することについて、当協会への事前連絡はありませんでした。



キュービクル側面



感電の状況



地元で山の達人という意味の「山人」と名づけられた宿

●今月号のお客さま

岩手県西和賀町 **株式会社 山人 -yamado-** さま

岩手県西南部、秋田県境にほど近い奥羽山脈の山ふところに、古くから知られた湯川温泉があります。この古湯の何もなかった川沿いの一画を切り開いて、2009年に「山人（やまど）」が開館しました。オーナーが20年の歳月をかけて全国を巡り、夢を思い描き構想を重ねてつくりあげた、理想の宿です。ここにしかない自然の美しさ、山の恵み、創作料理、そしてここだけのサービスを提供し、今や全国からここを目的に多くの人々が訪れる、極上の宿となっています。

本日は、株式会社 山人-yamado- 高鷹 政明 代表取締役、弊協会専務理事 渡邊 誠がお話をうかがいました。



株式会社 山人-yamado-
代表取締役
高鷹 政明さま



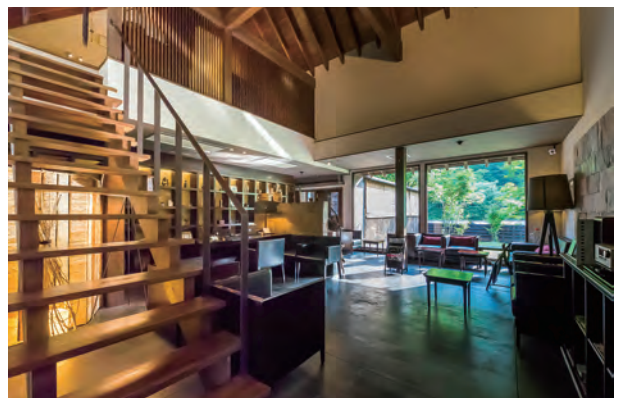
一般財団法人
東北電気保安協会
専務理事
渡邊 誠

20年の構想を経て具現化

渡邊：山人さまは、2009年（平成21年）5月にオープンされ、今や全国の宿の中で極めて高い評価を得られています。オープンに至った経緯を教えてくださいませんか。

高鷹：山人が立地する湯川温泉は、秋田県境にほど近い山あいであり、古くから秋田の農家の方々や、あるいは鉱山業の人たちなどの湯治場として利用されてきました。私の実家は、元々、温泉権は持っていたものの、小売り・仕出し・食堂などの食品関係を扱う流通業の業態でした。私が大学を卒業して湯川に戻っ

て来たとき、この地での流通業は限界だと思い、温泉旅館に転換した方がいいのではと判断しました。そこで旅館をつくって妻と家業



訪れた瞬間に、山人の世界に引き込まれる。心のこもったおもてなしも、山人の大きな価値となっている

ここにしかない山の美しさ、山の恵みを伝え、 稀有な存在として全国から人を呼ぶ宿

として始め、おかげさまで繁盛するようになりました。それが「御宿 末広」で、創業40年を超えました。

ただ、そこは限られた敷地の中でやっていたから、お客さまが増えていくにつれ、もっとお客さまのニーズに応じていくためにはどうしたらいいだろう、どんな宿泊施設にすればいいのだろう、という気持ちが芽生え、理想の宿を目指して構想を描き始めました。

渡邊：新しい施設を生み出すために、一から考え始めたということですね。どんなことを思い描いたのでしょうか。

高鷹：施設を研究するため国内外いろいろなところに出かけましたが、たとえば湯布院の宿はなぜ人を惹きつけるのか。そう考えたときに、きらびやかな料理を出すでもなく、地場のものに根ざしたサービスをしていて、あそこに行かなければ味わえないような空間や体験や味覚を提供していた、ということに尽きるわけです。岩手の山奥に帰ってきてどうだったかと言えば、自然がある、木や花があるという単純なひと括りではなく、木にも花にも様々な種類があるし、季節の移ろいも一日として同じ日はない。何もないのではなく、こんなにたくさんあることが見えていないのだとしたら、それが見えるように極めていって、それをお客さまが掛け値なしで体感できるようなしつらえをつくったら、どこにもないものができるんだろう、という感覚でした。そうして、およそ20年かけて「山人」ができました。

名前にこめられた開発コンセプト

渡邊：熱い思いによって、求めているものにたどり着いたという気がいたします。宿の名前



美しい自然を見るためのしつらえをつくりあげた山人の客室



スウェーデンジャズをバックに知に浸るひととき

にも代表の思いが込められているのでしょうか。

高鷹：このあたりでは、山仕事の達人を「山人（やまど）」と呼びます。山菜採りが上手だとか、木を切るのが上手だとか、「あの人は山人だな」と言っていました。宿の名前をつけようと思ったときに、自分たちも山仕事の達人になれば、そういう基軸で考えていけば、特化したサービスもできていくんだろうな、と。そんな思いで「山人」としました。

山人の計画はプランナーとともにお互い夢を語り合いながら、ここに一番合うのは何だということを吟味しながら一つひとつつくっていきました。できるだけ自然に寄り添ったシンプルなつくりで、押しつけがましいデザインをせず、さりげないシンプルさの中に上質感が漂っているような空間。デッキから外の

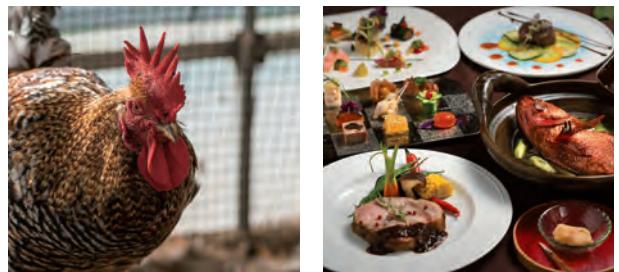
自然を見せる仕掛けみたいなところは2人で相当意識して考えました。奥の8部屋は全室から川が見えて、デッキに出ると山女魚が泳いでいるのが見えるんです。カルガモやカモシカも来ます。リスも普通に出てきます。萌黄色から深い緑になり、紅葉になって葉を落とし、やがて雪一面になる、そんな四季折々が楽しめます。

山人プロデュースの地鶏を生産

渡邊：山人にとっての美味しい料理とはどのようなものなのでしょうか。

高鷹：A5のステーキを出すとかアワビの踊り食いを出すのは、ある程度近郊であればどこでも出そうと思えば出せるじゃないですか。山人は、最初からそれは考えませんでした。あくまでも、ここにしかないものです。地のものとしては山菜やキノコが豊富な地域ですが、山菜とキノコだけでは高単価な宿泊代とは見合うはずありません。一方、動物性たんぱく質は名物がない地域でしたので、試行錯誤しながら食材を探し、県の事業の中にも参入していきました。岩手県は鶏の生産高が宮崎・鹿児島に次いで3位なんです。でもその内訳はブロイラー生産です。地鶏じゃないんです。南部地鶏という天然記念物の地鶏があって、それを掛け合わせて県が威信をかけてつくった「南部かしわ」という地鶏が苦戦していました。そこで農家さんと話をしながら、私たちが会社をつかって一から上質な「南部かしわ」を育てるところから始めようと思いました。最終的には最新鋭の加工センターを設置するところまで追求しました。

こうして私たちが作りあげたここだけの料理が加わって、山人が成り立っています。山人だけのそんな価値をわかっていただき、一度ならず訪れてくださるお客さまがすごく多



生産からプロデュースして作りあげた地鶏「南部かしわ」をはじめとした創作料理は、全国の旅人を惹きつけている

くなりました。旅行体験が豊富な方でも、ここだけを目的に東京や大阪から来ていただいています。

とは言え、お客さまからわかっていただけるまでは、やはり時間がかかりました。2017年旬刊旅行新聞「日本の小宿10選」選出、2019年じゃらん「泊まってよかった宿大賞(総合、50室以下)」では、関東、伊豆・箱根など全国でランキング第5位、東北では断トツ1位と評価していただけるようになりました。

山人の活動に参加すること

渡邊：ホームページでも拝見しましたが、自分の考えをもった若いスタッフの方が多いですね。リクルーティングはどのようにされていますか。

高鷹：スタッフも山人の大事な価値のひとつです。はじめのうちは人が集まるはずもないところな



四季折々の楽しみ方を提供している

ので、すごく苦勞をしました。あるとき地元の大学に行って、就職説明会に参加させていただき「こんな面白いことをしているよ」ということを言い始めたら、山が好きの人とか、農学部でジビエの食肉の勉強をしている人、デジタルに詳しい人などが入り始めました。14年の間には入れ替わりはありましたが、コンセプトがわかって、ここで暮らしていけるようなスタッフが根付きだして、私たちの活動に参加したいという人たちが増えてきました。

山から海につなぐ新しい試み

渡邊：自発的に動かれるスタッフの皆さんといっしょになって、山人の活動がどんどん広がっていく感じですね。

高鷹：コロナで動けなかった時期に、スタッフがそれなら通販や情報発信をしようということで、おそらく日本全国の宿泊施設で第1号だと思いますが、WEBラジオ「北風放送」を開設しました。私は見えて「面白そうだね、じゃやってみれば」と言うのですが、私たちが求めているのは、エキスパートですね。一般的なホテル専門学校を卒業してくる人はなくて、いろいろな専門性のある人たちが多く集まっています。そういうサービスの基軸の切り口が違うところがお客さまから受け

ているかもしれませんね。自然の中の写真が好きになり動画が好きになって、自分たちで編集したり、配信したりする人もいます。採用ビデオも全部社内で作って、YouTubeで配信しています。

スタッフみんなが力をつけてきたので、次の展開も考え始めています。山から海へつなぐというのも一つの方法かなと思っています。秋田県男鹿市に昔から仲良くさせていただいていた方がおり、いい土地を紹介してもらったのでそちらで始めることになって、順調に進めば来年の秋くらいにはオープンできるかなと思って、今、準備をしているところです。

持続可能な取り組みをこれからも

渡邊：施設を運営するにあたり、電気の安全使用や省エネなどで気になることはありませんか。

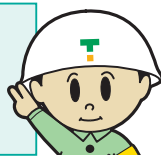
高鷹：スタート段階でのコンセプトのひとつが「ロハス」でした。今で言うとSDGsです。それでオール電化でスタートしました。安全性や火を使わない点が宿泊業にマッチしていると思っています。保安協会さんは、大雪で渡り廊下に水が浸みこんで漏電したときに、深夜なのにすぐに駆けつけてくれて安心したことが印象に残っています。

渡邊：私ども協会では、必要な改修の相談や、省エネのご助言などもさせていただいています。

高鷹：いま電気代が高いですから、コストを抑える対策をできるところからしていきたいと思いますので、省エネのアドバイスはぜひお願いしたいです。また新しい施設の方でもご助言をお願いしたいと思っています。

渡邊：本日は、ここにしかないオリジナルな価値をつくりあげ、そこに泊まってみたいと全国から熱い視線を集める山人さまの理念と想いをうかがうことができました。大変ありがとうございました。

検査員の現場報告1



あって良かった、予備ヒューズ！

大曲事業所 今野 直樹

落雷により全停電したものの、予備ヒューズが保管されていたため早期復旧できた事例をご紹介します。

〔状況〕

昨年の盆の入り、8月13日の午前8時27分、電気事故受付センターに「建物全体が停電している」と電話連絡がありました。出動当番だった私は、雷雨の中、高圧事故の可能性が高いことから、同僚と2名でお客さまに向かいました。

〔調査〕

約1時間後に現場に到着し、まず構内第一柱の引込開閉器（PAS）を確認したところ「入」状態で地絡継電器の地絡表示もありませんでした。次に、キュービクル内を確認したところ、主遮断装置の高圧交流負荷開閉器（LBS）の中相ヒューズが溶断しているのを確認しました。

ヒューズが溶断した原因を探るため、引込開閉器を開放し安全措置を施したうえで、キュービクル内の外観点検並びに高圧絶縁抵抗測定を実施したところ、異常はありません。トランス内部点検も異常はありません。また、引込開閉器及び地絡継電器も異常はありませんでした。

〔原因〕

原因は、当日明け方から雷が多発していたことから、雷の影響によるヒューズ溶断と推測しました。

〔復旧〕

お客さまからお盆期間の営業中ということもあり、早急に復旧してほしいとの要望があり、ヒューズ溶断以外に異常箇所がなかったことから、キュービクル内に保管していた予備ヒューズ3本と交換し復旧することにしました。交換後、東北電力ネットワーク㈱に連絡のうえ引込開閉器を投入し、事故発生から約3時間後に復旧することができました。

予備ヒューズを使用したため、後日、お客さまにより再手配していただきました。



〔お客さまの声〕

お客さまから迅速な対応に感謝されるとともに、「お盆期間で観光客もいるので、昼から営業できて大変助かった。予備ヒューズがあったので良かった。保安協会さんは、いつでも24時間対応してくれるので安心です」との言葉をいただきました。

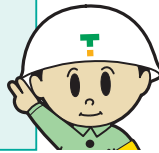
〔まとめ〕

今回の事例は、雷の影響によりヒューズが切れ、全停電となった事故でした。雷による事故を完全に防ぐことは困難ですが、幸いヒューズが切れただけで機器への損傷はありませんでした。また、予備ヒューズが備え付けられていたことにより、迅速に復旧することができました。お客さまのご理解により事前に用意していただいていたことに感謝しました。



溶断したヒューズ

検査員の現場報告2



何か臭います？

新発田事業所 栗野 光熙

定期点検時における異常発見により、早期改修していただいたことで電気事故を未然に防止できた事例をご紹介します。

〔状況〕

10月の初めの残暑が厳しく多湿状況が続く日に、同僚と二人である工場の月次点検にお伺いした時のことです。

〔調査〕

屋外にキュービクル（受変電設備）があり、私が電気メーターの記録、同僚がキュービクルの外観点検と、いつもどおりの手順で点検を進めていたとき、突然同僚が「何か臭います、変な音もします」と言いはじめ、何事かと私もキュービクルの中の様子を確認しました。確かに、オゾン独特の鼻につく臭いと、微かにチリチリチリと放電しているような音が聞こえてきました。

高圧受電中のため、キュービクル内に直接入って確認することができませんので、とりあえず目視で見渡しましたが異常を見つけることができませんでした。

そこで一旦同僚と話し合い、「音とランプ」で放電レベルを教えてくれる診断装置の「超音波式放電探知器」を使用することとし、上長に連絡しました。探知器本体の先端を異常箇所に向け探し始めると、主遮断装置の真空遮断器（VCB）で放電している箇所を発見しました。

真空遮断器は、電気設備の主要回路を遮断する装置です。これが壊れてしまうとお客様の電気使用場所の全てが停電して、電気が使用できなくなります。

〔原因〕

真空遮断器の交換推奨時期は20年です。お客さまで使用されていた真空遮断器は25年近く使用されていました。遠目で見ると、若干黒ずんで見える部分があり、早急に真空遮断器の交換が必要であることをお客さまの責任者の方に報告しました。

〔復旧〕

お客さまにはすぐに交換計画を立てていただき、工事の手配を進めましたが、メーカーに在庫もなく、納期は1か月程度かかるとのことから、設備を停電



して応急的に真空遮断器の清掃を行いました。その結果、工事完了まで停電などのトラブルもなく、無事復旧することができました。

交換した真空遮断器を確認すると、外からは見えない下部の絶縁部分が黒く焦げており、「よく耐えてくれましたね、遮断器さん」と思わず感謝しました。

〔お客さまの声〕

お客さまの責任者の方に取替工事に立ち会っていただき、「工場稼働中に不意の停電にならず間に合っただけよかった」と安堵した表情で感謝の言葉をいただきました。

〔まとめ〕

建物や車と同じように、電気設備も老朽化していきます。もし工事の前に壊れて停電してしまったり、復旧にどれだけの時間と営業損失があるかわかりません。今回は壊れる前に異常を見つけることができましたが、電気設備は何の前触れもなく突然壊れることもあります。定期点検では見つけられない異常もあるため、耐用年数を参考に電気事故が発生する前に設備更新する必要があります。

その後、お客さまからは、他の電気機器についても定期的な更新計画を立てていただいております。



異常のあった真空遮断器（VCB）



放電したと思われる跡



Spotlight スポットライト1

当協会お客さま設備の指摘事項・指導事項の概要

当協会では、お客さまの電気設備の点検を実施し、その電気設備に何らかの不具合や異常があった場合、大きく次の2つに区分して報告書に記載し、改修方法や事故防止のためにとるべき措置のご説明をしております。

指摘事項：電気設備の技術基準(法令)に抵触しているもの（感電や電気火災などの電気事故につながるおそれ大きいもの）

指導事項：法令等には抵触していないものの、そのまま使用すると電気事故につながるおそれがあるもの

今回は、受変電設備や負荷設備における指摘事項及び指導事項の概要についてご紹介します。

1 指摘事項・指導事項の件数及び軒数の推移（過去5年）

●指摘事項

指摘事項の過去5年の件数は、図1のとおりです。

2022年度における指摘事項の件数は、約38.7千件と2021年度の約38.4千件とほぼ同数でした。

一方、改修件数は、指摘件数の65.2%にあたる約25.2千件について改修していただきました。

2022年度末で指摘事項のあるお客さま軒数は、全お客さま約53.5千軒の12.7%にあたる約6.8千軒でした。（図2）

指摘事項は、経済産業省令である「電気設備の技術基準」に抵触（法令違反）するものであり、感電や電気火災などの重大な電気事故につながるおそれがありますので、早急な改修が必要です。

●指導事項

指導事項の過去5年の件数は、図3のとおりです。

2022年度における指導事項の件数は、約224.2千件と2021年度の約216.4千件より約7.8千件増加しました。

図1 指摘事項の件数、改修数、未改修及び改修率の推移（需要設備）

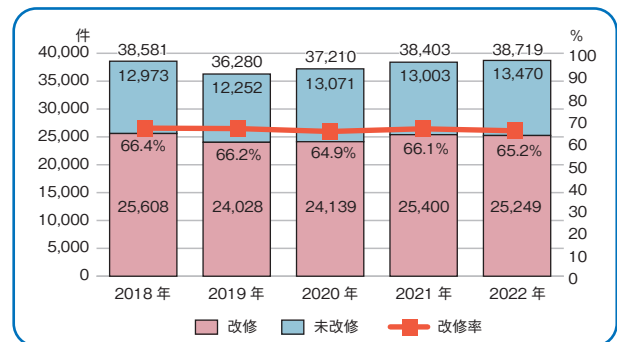


図2 2022年度末 指摘事項のお客さま軒数

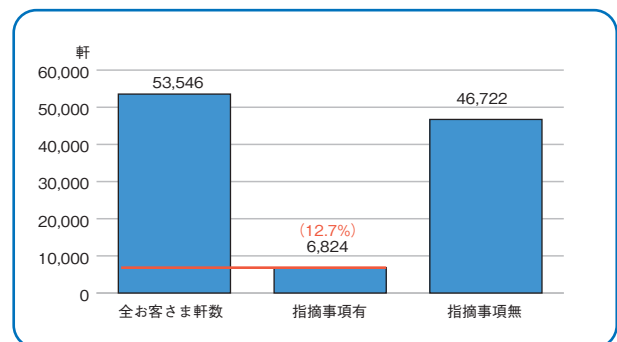
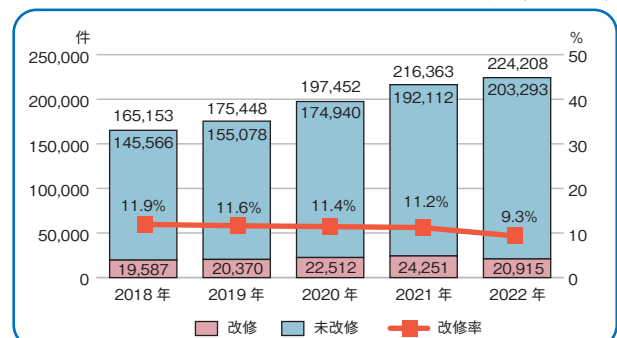


図3 指導事項の件数、改修数、未改修数及び改修率の推移（需要設備）

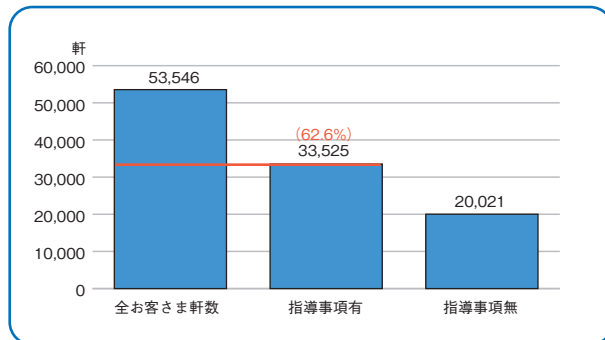


2022年度末で指導事項のあるお客さま軒数は、全お客さまの半数以上の約33.5千軒でした。(図4)

指摘事項の件数及びお客さま軒数は、指導事項と比較して多い状況にあり、お客さまに改修に努めていただいているものの、改修率は9.3%にとどまっています。

指導事項は、法令に抵触していないものの、更新推奨期間を過ぎた電気機器も含まれるなど、状態によってはそのまま使用すると電気事故につながるおそれがありますので、引き続き改修の必要性をご説明してまいります。

図4 2022年度末 指導事項のお客さま軒数



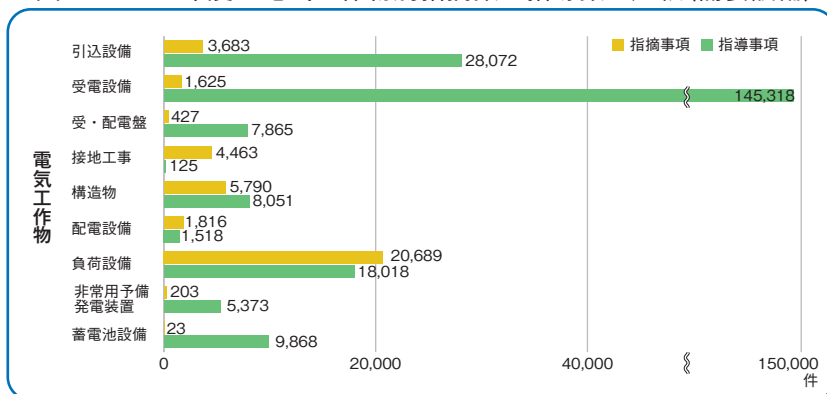
2 指摘事項・指導事項の電気工作物別の傾向

2022年度の電気工作物別の内訳は、指摘事項は「負荷設備」、「構造物」、「接地工事」の順で多く、指導事項は「受電設備」、「引込設備」、「負荷設備」の順で多くなっています。(図5)

指摘事項の主な内容としては、「負荷設備」では電線路・使用機器の絶縁不良、使用器具の損傷などがあります。「構造物」では立入禁止の表示がないものが多く、また、「接地工事」では、接地が施工されていないもの又は接地抵抗値が高いものとなっています。

指導事項の主な内容としては、「受電設備」では高圧交流負荷開閉器、変圧器及び高圧コンデンサなど、「引込設備」では区分開閉器及び避雷器といった高圧機器の老朽化によるものとなっています。

図5 2022年度 電気工作物別指摘数と指導数の比較(需要設備)



3 まとめ

今回は、指摘事項及び指導事項についてご紹介しました。

指摘事項については、法令に抵触していることはもちろんのこと、感電や電気火災などの重大な電気事故につながるおそれが多いものですので、早急な改修が必要です。

指導事項については、重要な高圧機器の老朽化によるものが多く実際に改修しないまま使用され、それが原因で構内が全停電となり、交換する機器の入手が困難で復旧に数日を要した事例や、それに伴い生産活動に重大な影響を与えた事例も過去に数多く発生しております。

当協会では、電気を安全にご使用いただくため、「あんぜん、きづく、あんしん」をスローガンに定期点検等において、指摘事項、指導事項としてお客さまにお知らせしてまいります。

法令に抵触している指摘事項の速やかな改修は、保安規程遵守として設置者の責務となります。また、指導事項についても、停電リスク等の回避につながりますので、計画的な更新等をお願いいたします。

改修や更新等に関するご相談は、お近くの事業所又は担当検査員をお願いいたします。

Spotlight
スポットライト2

8月は「電気使用安全月間」です

夏場は高温、多湿による注意力の低下や、肌を露出した服装、また、発汗により体に電気が流れやすくなるなどの条件が重なり、感電死傷事故が起きやすい傾向にあります。昭和56年に経済産業省（当時の通商産業省）の主唱により、8月を「電気使用安全月間」と定め、電気事故の撲滅を図るために、関係団体が一体となり全国一斉に運動を展開してきており、今年で43年目となります。

当協会では街頭での広報活動などを通じて、お客さまや一般の方々に電気の安全使用を呼びかけているほか、社会福祉施設や公共施設などの電気安全特別診断を実施しています。

2023年度 全国統一重点活動テーマ

- 感電・火災の防止のため、身近な配線・コンセントを確認しましょう
- 無資格の電気工事は危険ですので、必ず有資格者に依頼しましょう
- 自家用設備は、適切な保守点検と計画的な更新で電気事故の未然防止に努めましょう
- 地震、雷、風水害などの自然災害に備え、日頃から電気の安全に努めましょう

①街頭広報活動（2020～2022年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため活動を中止しました）



※2019年度の街頭広報活動

②社会福祉施設や公共施設などの電気安全特別診断



令和5年度 経済産業省 主唱
8月は電気使用安全月間です。

- 感電・火災の防止のため、身近な配線・コンセントを確認しましょう
- 無資格の電気工事は危険ですので、必ず有資格者に依頼しましょう
- 自家用設備は、適切な保守点検と計画的な更新で電気事故の未然防止に努めましょう
- 地震、雷、風水害などの自然災害に備え、日頃から電気の安全に努めましょう

給湯室で 洗面所で

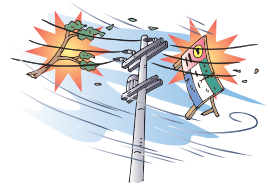
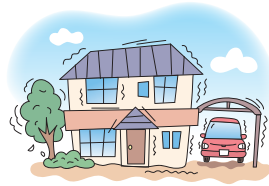
給湯室・洗面所では手をよくふいてコンセント・プラグを抜きましょう。

東北電気保安協会
http://www.t-hoan.or.jp



家庭の電気お役立ち情報

地震・台風に向けて



今回は、地震・台風に向けての備えについてご紹介します。

◎地震への備え（大地震が発生したら）

屋内にいるときは

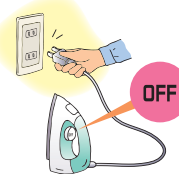
- ・頭を保護しながら大きな家具から離れ、テーブルの下などに隠れる
- ・あわてて外に飛び出さない
- ・扉を開けて避難路を確保する

屋外にいるときは

- ・ブロック塀、自動販売機、ビルの壁、看板などから離れる
- ・カバンなどで頭を保護し、公園や空き地などに一時避難する

地震が発生したら、コンセントからプラグを抜きましょう

とくに電気ストーブやアイロンなどの熱を発する器具は、火災の原因になるのですぐにスイッチを切り、コンセントからプラグを抜きましょう。



避難するときはブレーカーを「切」にしましょう

電気製品の消し忘れなどにより火災になる場合があります。避難するときはブレーカーを切にしましょう。また、ガスの元栓も必ず閉めましょう。



◎台風への備え

家の中の備え

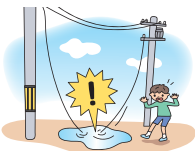
- ・食料、飲料水などを最低3日分備蓄する
- ・浴槽やペットボトルに生活用水を確保する
- ・窓、雨戸、カーテンをしっかりと閉める
- ・情報収集のため、ラジオの準備、携帯電話の充電、モバイルバッテリーも用意する

家の外の備え

- ・風に飛ばされそうな物は、固定するか屋内に移動する
- ・普段から側溝や排水溝を掃除する
- ・浸水の可能性がある場合は、土のう・水のうを準備する

切れた電線や垂れ下がった電線には絶対に近づかないで!

切れた電線や垂れ下がった電線には、絶対に近づかないください。感電するおそれがあります。



水に浸かった電気機器は、点検後に使しましょう

水に浸かった電気機器で感電することがあります。必ず点検してから使しましょう。



◎共通の備え

- ・家族で災害時の集合場所や連絡方法を決めておきましょう
- ・ハザードマップで危険箇所を確認し、自宅から避難場所への経路を確認しておきましょう
- ・地域の防災訓練に参加して、災害発生時の対応の仕方を確認しましょう
- ・非常持ち出し品（数日分の食料、飲料水、ラジオ、懐中電灯など）をまとめておき、すぐに持ち出せる場所に置いておきましょう

内容は一例です。災害に備え日頃から準備をしましょう

地域とともに

道の駅

道の駅

ふたついで



道の駅について

古くから秋田杉の産地として知られる能代市。2018年7月移転OPENした新・道の駅「ふたついで」の展望デッキからは、悠々と流れる米代川を挟んで、対岸には原生林に覆われた七座山を見ることができます。川の流れると山々を眺めながら食事も堪能できます。

産直・物販コーナー

能代市二ツ井で採れた新鮮な旬の野菜、果物、山菜や加工品、秋田県北部の特産品、お土産品を取り揃えております。また、きみまち阪の桜の花びらから分離した「秋田美桜酵母」を使用したクラフトビール「きみまち美桜ビール」や「美桜どぶろく きみまちの詩」など、能代市二ツ井、道の駅ふたついでしか購入できない品を揃えています。



お食事

koikoi 食堂

営業時間/11:00~18:00 (ラストオーダー 17:00)

地元能代市で育った黒毛和牛「鶴形牛」を使用した「鶴形牛霜降りロースのローストビーフ丼」。地場産のそば粉を使用した「田の源そば」など、能代市二ツ井、道の駅ふたついでしか味わうことのできないメニューがお楽しみいただけます。

客席の窓辺からは、神秘的な山「七座山」、母なる川「米代川」、風光明媚な「きみまち阪」など、二ツ井の「美しい山河」をお楽しみいただけます。



鶴形牛霜降りローストビーフ丼



田の源そば

軽食コーナー

営業時間/9:00~18:00

GRISSINI(グリッシーニ)

人気の「七座ドッグ」など贅沢で妥協なしのホットドッグや大人気のジェラソフトは、こちらでいただけます。

福多珈琲 FUKUTA COFFEE

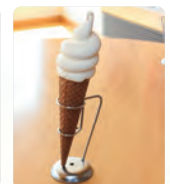
運転で疲れたカラダに、淹れたてのコーヒーとおいしいクレープ、二ツ井のソールフードで溶けてもじゃぶじゃぶ美味しい「じゃっぶう」(氷菓子)が楽しめます。

桃豚生産者直営 Comomo Deli

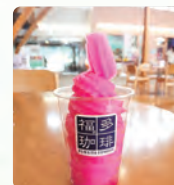
秋田のブランド豚「桃豚」の生産者直営店です。桃豚コロケやメンチカツ、桃豚ぶたんぼやフランクフルトなどが堪能できます。



七座ドッグ



ジェラソフト



じゃっぶう(氷菓子)



桃豚ぶたんぼ

「道の駅」の目的と機能 (国土交通省HPより)

目的	基本コンセプト
<ul style="list-style-type: none"> 道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供 地域の振興に寄与 	<ul style="list-style-type: none"> 休憩機能 ・24時間、無料で利用できる駐車場・トイレ 情報発信機能 ・道路情報、地域の観光情報、緊急医療情報などを提供 地域連携機能 ・文化教養施設、観光レクリエーション施設などの地域振興施設



その他の主な施設

キッズコーナー

営業時間/9:00~18:00

日本一高い天然秋田杉“きみまち杉”や米代川、七座山、きみまち阪など、ニツ井の自然や名所をモチーフにデザインされた遊具、室内空間となっており、天気を気にせず利用することができます。



歴史・民族資料コーナー

営業時間/9:00~18:00

ニツ井の米代川を中心に発展した歴史文化や木材産業、道の駅周辺の動植物の紹介のほか、中央部、ガラス張りの床には、樹齢約850年の杉の埋もれ木が展示されています。



多目的ホール

利用可能時間/9:00~18:00



3×3コート

堆雪時利用不可



ドッグラン

堆雪時利用不可



レンタサイクル

利用時間/9:00~17:00 (4月~10月)

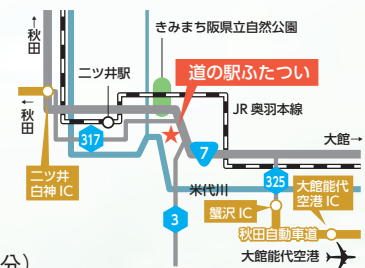


アクセス

〒018-3102
秋田県能代市ニツ井町小繋字泉51番地
TEL 0185-74-5118
URL: <http://michinoeki-futatsui.jp>

自動車利用

- ▶秋田自動車道ニツ井白神IC
～国道7号弘前方面 (約10分)
- ▶秋田自動車道蟹沢IC
～県道325号～国道7号秋田方面 (約10分)



米代川カヌー体験 (5月~10月)

「NPO法人ニツ井町観光協会カヌースクール」 TEL 0185-73-5075 FAX 0185-73-4081
観光協会のホームページからもお申し込みできます。

受付はここです↓



白河市内の幼稚園の「電気安全特別診断」を実施しました

白河事業所

白河事業所では、8月の「電気使用安全月間」の活動の一環として、公共施設等の電気設備の安全点検を実施しております。

夏場は高温、多湿による注意力の低下や、肌を露出した服装、また、発汗により体に電気が流れやすくなるなどの条件が重なり、感電死傷事故が起きやすい傾向にあります。昭和56年から8月を「電気使用安全月間」と定め、電気事故の撲滅を図るために、全国一斉に運動を展開しているものです。

この度は、白河市内の幼稚園さまにお声掛けさせていただき、2022年8月4日に電気安全特別診断を実施させていただきました。

当日は、午前11時00分に2名の職員で訪問し、点検前に事務室の職員の方に「最近新たな電気機械器具の取り付けや取り替えがなかったか」、「電気設備に不具合や気になるところはないか」をお伺いし、特にないことを確認いたしました。

始めに、電力量計周辺の引込口配線や屋外配線の目視点検と漏れ電流測定及び清掃を実施しました。次に、屋外分電盤の点検、その他コンセントなどの屋外設備の施設状況の確認を実施しました。同じく、屋内の分電盤では、ブレーカーが過熱していないか放射温度計による測定と目視点検、増し締め、さらに可能な範囲で屋内露出配線や機器等の目視点検を実施いたしました。

また、幼い子どもたちが過ごす施設ですので、コンセント破損など手に届くところに危険はないか、照明器具の取り付けは大丈夫か、つまづかないか等にも気を配り点検させていただきました。

約1時間後に作業を終了し、これらの点検に

より電気設備に異常はありませんでした。

電気安全特別診断の実施結果について、異常がないことを書面でお客さまへお渡しするとともに、当協会配布しているパンフレットを活用して、濡れた手でコンセントやプラグに触れないことやたこ足配線の危険性、コードやプラグの取り扱い、電気を正しく安全に使うための注意点、アースの役割と取り付け方法及び漏電ブレーカーの役割やテストの必要性等を説明し、理解を深めていただきました。

お客さまからは、「暑い中、電気設備を点検していただきありがとうございます。これからも安心して電気を使用することができます」と感謝の言葉をいただきました。

私たちは、これからも電気事故防止のPRに努め、お客さまに安心してご使用いただけるよう、公共施設等の電気安全特別診断を定期的の実施していきたいと思っております。



点検を実施させていただいた幼稚園



電力量計周辺の点検



屋内分電盤の点検

小出力発電設備に係る新たな規制制度について

これまで一部保安規制の対象外だった小出力発電設備（太陽電池発電設備及び風力発電設備）が新たな類型（小規模事業用電気工作物）に位置づけられます。（右図の黄枠部分）

2023年3月20日より小規模事業用電気工作物においても、技術基準適合維持義務及び使用前自己確認の対象が拡大され、基礎情報の届出が義務となります。

出力等条件	太陽電池発電設備の保安規制の対応				風力発電設備の保安規制の対応				
	事前規制 安全な設備の設置を担保する措置		事後規制 不適切事業等への対応措置		事前規制 安全な設備の設置を担保する措置		事後規制 不適切事業等への対応措置		
2,000kW以上	技術基準維持義務	保安規制の届出 （届出義務）	事故報告 （報告義務）	立入検査	500kW以上	技術基準維持義務	保安規制の届出 （届出義務）	事故報告 （報告義務）	立入検査
2,000kW未満 500kW以上	技術基準維持義務	保安規制の届出 （届出義務）	事故報告 （報告義務）	立入検査	500kW未満 20kW以上	技術基準維持義務	保安規制の届出 （届出義務）	事故報告 （報告義務）	立入検査
500kW未満 50kW以上	技術基準維持義務	保安規制の届出 （届出義務）	事故報告 （報告義務）	立入検査	20kW未満	技術基準維持義務	保安規制の届出 （届出義務）	事故報告 （報告義務）	立入検査
50kW未満 10kW以上	技術基準維持義務	保安規制の届出 （届出義務）	事故報告 （報告義務）	立入検査					
10kW未満 小規模発電設備	技術基準維持義務	保安規制の届出 （届出義務）	事故報告 （報告義務）	立入検査					

【出典】経済産業省資料に基づき作成

●技術基準適合維持義務の対象が拡大

技術基準適合維持義務の対象が拡大され、小規模事業用電気工作物（太陽電池：10kW 以上50kW 未満、風力：20kW 未満）も、技術基準適合維持義務の対象となります。

●基礎情報届出が新設され義務化

- 基礎情報届出の制度が新設され、小規模事業用電気工作物（太陽電池：10kW 以上50kW 未満、風力：20kW 未満）は、基礎情報の届出が義務となります。
- 既設の設備（FIT 認定を受けている設備は除く）についても、2023年3月20日の施行から6か月以内（9月19日まで）に届出が必要です。
- 以下の既設の設備はFIT 認定の有無にかかわらず届出を求められます。
 - 基礎情報の項目に変更があった場合
 - 小規模事業用電気工作物に該当しなくなった場合（廃止を含む）

	設置者	設備	保安体制
届出事項	<ul style="list-style-type: none"> 氏名又は名称及び代表者の氏名 住所 連絡先（電話番号、メールアドレス、その他連絡先） 	小規模事業用電気工作物の <ul style="list-style-type: none"> 名称 設置の場所 種類 出力 	保安監督業務担当者の <ul style="list-style-type: none"> 氏名又は名称 住所 電話番号 メールアドレス 点検頻度

●使用前自己確認の対象が拡大され義務化

- 使用前自己確認の対象が拡大され、新設する一部の事業用電気工作物（太陽電池：50kW 以上2000kW 未満、風力：20kW 以上500kW 未満）及び小規模事業用電気工作物（太陽電池：10kW 以上50kW 未満、風力：20kW 未満）は、使用前自己確認が義務となります。
- 既設設備についても以下の一定の変更の工事を行った場合には、使用前自己確認の結果の届出が求められます。

変更工事の種類	太陽電池発電設備の条件 出力:10kW 以上2,000kW 未満	変更工事の種類	風力発電設備の条件 出力:500kW 未満
発電設備の設置	5%以上の出力の変更	発電設備の設置	5%以上の出力の変更
太陽電池の設置（増設）	全て	風力機関の設置（増設）	全て
支持物の構造を含む 太陽電池の取替え	全て	風力機関の取替え	全て
支持物の構造を含まない 太陽電池の取替え	5%以上の出力の変更	風力機関の改造 （右記のいずれか）	回転速度の変更
太陽電池の改造 （右記のいずれか）	20%以上の出力の変更 支持物の強度の変更		5%以上の出力の変更 風車・支持物の強度の変更 調速装置・非常調速装置の 種類の変更
太陽電池の修理	支持物の強度に影響	風力機関の修理	風車・支持物の強度に影響 調速装置・非常調速装置の 種類の取替え

受電設備保証保険に加入しています

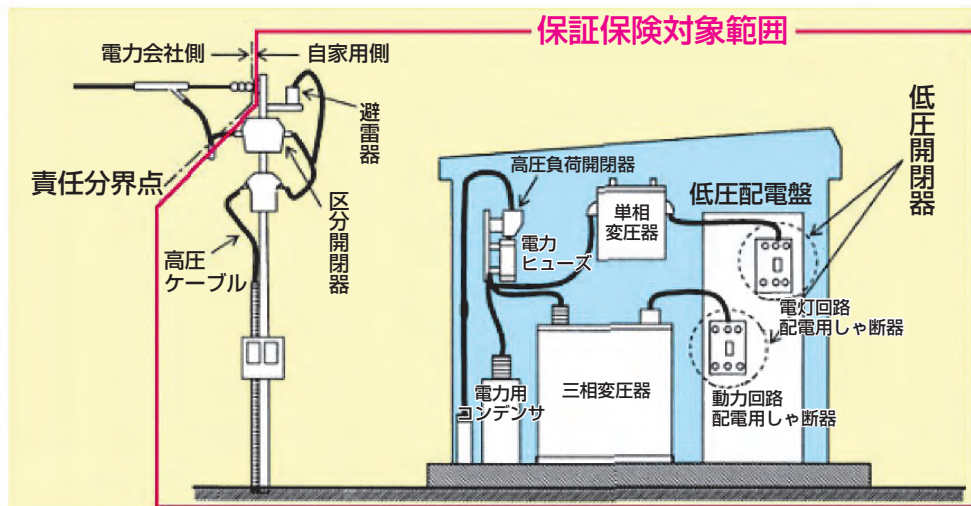
お客様の受電設備において、落雷並びに水災の自然災害などにより電気機器が損傷した場合、その損害は甚大なものになります。

当協会は、ご契約をいただいているお客様の負担軽減に役立つよう『受電設備保証保険』に加入し、機器の損害を保証するサービスを提供しております。

●受電設備保証保険の概要

- 1 お客様の保険料負担はありません。
- 2 不測かつ突発的な事故（落雷、水災、他物接触など※）により、お客様の受電設備が損壊した場合、その損害をてん補します。（限度額：なし、免責額：2万円）
 - ・保証対象は、電力会社との責任分界点から受電設備の低圧開閉器負荷側端子までの機器です。（下図をご参照ください）
 - ・改修指摘を行った日から、3ヵ月以内に改修委託がなされない機器に発生した損害は保証できない場合があります。
 - ・免責額2万円はお客様のご負担となります。
- 3 上記2の突発的な事故による波及事故で、他者に対し法律上の損害賠償責任を負う場合、その額をてん補します。（限度額：500万円 免責額：なし）

※ 自然災害では、落雷、水災のみが対象となります。



●水災した電気設備(例)



地域発信!
東北・新潟の
温泉地紹介

青森県風間浦村

「本州最北端」 下風呂温泉郷



本州北の果ての海沿い 青森県下北半島 風間浦村に、幾百年ものあいだ湯治場として親しまれてきた『下風呂温泉郷』があり、温泉がある宿が8軒、民宿が1軒あります。

昭和33年3月9日、「ここなら渡鳥の声が聞ける」と紹介された昭和の小説家・井上靖が、津軽海峡に面した下風呂温泉郷を訪れ、『海峡』の終局を執筆しました。背後には山が迫り、目の前には津軽海峡が広がる。山海に挟まれたわずかな土地に宿がひしめく下風呂温泉郷は古くから温泉地として知られ、多くの湯治客で賑わったといわれています。

潮の香りに織り交ざる硫黄のにおいに出迎えられ、新鮮な海の幸に舌鼓を打つ。津軽海峡の水平線に見えるのは夜の空と海とを照らすイカ釣り漁船の漁り火。小説に描かれていたような情緒あふれる温泉郷が今もなお残っていて、昔と変わらず聞こえてくる潮騒の心地よい響きは旅人の癒しとなります。

室町時代から続く名湯のある下風呂温泉郷は、旅の疲れを解きほぐす「やすらぎの場」です。

下風呂温泉海峡の湯

下風呂温泉郷は、海から山の斜面に温泉郷が開かれており、200m以内に全国的にも珍しい「大湯」、「新湯」、「浜湯」の3つの湯口があります。



海峡の湯では、「大湯」「新湯」の2系統の温泉と、井上靖ゆかりの「大湯2号泉」と泉質の異なる3つのヒバ造りの湯船に浸かりながら、大きな窓一面からは津軽海峡を眺めることができ、旅人の心を癒してくれます。

1階に併設された「下風呂おんせん食堂」では、津軽海峡で水揚げされた名物・風間浦鮫鱈やイカ刺し、平目やサーモンなど、ここでしか味わえない地魚を定食や丼ぶり、あたたかい鍋などでいただくことができます。2階には、井上靖が宿泊した「長谷旅館」を再現した客室や、執筆した散文詩のレプリカが展示されていたりと、昭和の趣を感じる空間になっています。

海の恵み

かつてアイヌの人々が「しょっぱい川」と呼んだ津軽海峡を望む風間浦村。向こう側に北海道を眺め、夕暮れになると美しい夕日に海が染められ、やがて漁り火が瞬き始めます。

津軽海峡に面した風間浦村は、漁業も盛ん。この豊かな海で獲れるイカ、ウニ、アワビなどの新鮮な海の幸や、

冬は活きたまま水揚げされる風間浦鮫鱈など、目で舌で、その豊かな海の恵みを味わうことができます。



風間浦鮫鱈



活イカ備蓄センター

イベント

風間浦村で穫れたイカやウニ、アワビ、鮫鱈などの旬の海の幸を満喫できる、各種イベントが開催されます。



海鮮どんぶりまつり



風間浦鮫鱈感謝祭

体験する

元祖烏賊様レースや布海苔採り体験ツアー、イカ釣り船に乗っての津軽海峡での漁体験、夜の下風呂温泉郷の景色を楽しむ漁り火ウォークなど、さまざまな体験・ツアーが楽しめます。



元祖烏賊様レース



布海苔採り体験ツアー

◎下風呂温泉郷

●交通手段／ [JR利用] JR下北駅より路線バス約1時間10分

[自動車利用] 東北道 青森I.Cから約3時間、八戸道 八戸I.Cから約3時間

●問い合わせ先／ 風間浦村産業建設課 ☎0175-35-2111 URL : <https://www.kazamaura.jp>

(写真提供：風間浦村役場)

